

経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

① 目指す姿と数値目標

経営方針

継続企業の前提に関する重要な疑義を早期に解消し、収益基盤を強化。人材育成と設備投資を通じた企業価値向上を実現する。

経常利益
19,607千円

当期純損失
112,519千円

債務超過額
107,508千円

② 中長期の経営戦略

1. ホテルマネジメント契約と設備強化

2024年6月にPlan・Do・Seeと契約締結。屋上写真スポット整備、1階宴会場・2階ブライダルサロン改装でブライダル集客向上を実現。

3. 人材処遇改善と採用強化

従業員処遇改善、社員採用、繁忙に合わせた労働力活用で労働力不足に対応。

2. 1階レストラン刷新

販売力強化により顧客満足度向上と価値向上を追求。材料費・人件費上昇への対応。

4. 人材育成の質的転換

量から質へ転換。人的資源の許容範囲内で最大利益追求の実現を目指す。

③ 対処すべき課題

① 継続企業の前提に関する重要な疑義

- ・ 債務超過107,508千円の早期解消が必須課題
- ・ 設備改装等による減損損失の発生に対応
- ・ 収益基盤強化による事業継続基礎の構築

② 労働力不足への対応

- ・ 業績回復に伴う相対的な労働力不足への対処
- ・ 他業種間との人材獲得競争への対応
- ・ 従業員の処遇改善と新規採用の推進

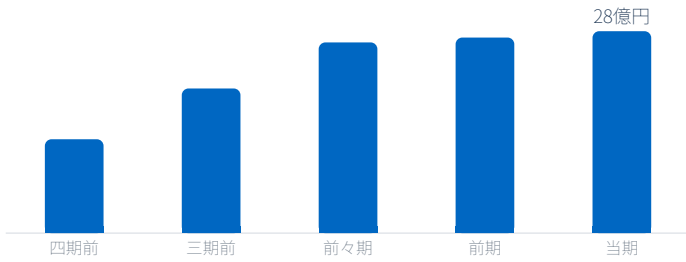
③ 企業価値向上と財務安定化

- ・ 業績回復と並行した企業価値向上の実現
- ・ 将来成長を見据えた設備修繕投資の計画
- ・ 様々な状況に耐えうる事業継続体制の構築

面接で使えるポイント

- ・ 2024年6月のPlan・Do・Seeとの契約により、熊本城を背景とした屋上写真スポット整備やブライダル強化で経営課題に…
- ・ 債務超過107,508千円という経営危機を、設備投資と人材育成の両面で解決する具体的な経営戦略。
- ・ 量から質への転換や処遇改善を通じた人材確保で、労働力不足という社会環境の課題に直面している企業の現状認識。

業績の推移（売上＝棒 / 営業利益＝線）



暗記する数字3つ

連結売上高
－（未開示）営業利益率
－（未開示）財務健康度
0点 / 100点

将来性 雨 / 就活偏差値 28.9（当サイト算出の参考指標）

平均年収
－（未開示）平均年齢
－（未開示）平均勤続
－（未開示）

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース＋一言

